

二〇二四年度 経済学部 一般・スカラシップ入学試験(A日程)問題

国語総合

(二月一日)

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

①ダイ「タン」にまとめてしまえば、本作は母を失った思春期の少年が、叔母である継母を新たな母として受け入れる物語である。宮崎駿の作品では、基本的に父は善意に満ちた模範的存在として際立っている。本作の父(勝一)は、その意味で①存在だ。②「ゴウ」ホウだが、わるく言えば独善的な行動力が、戦時下における成功者に彼をのし上げたことは想像に難くないのだが、同時に、眞人が抱えさせられた多くの問題の元凶とさえなっている。

眞人の転校早々の喧嘩も、息子をダットサンで学校に送ったことで他の学生たちに③妬まれたことに起因している。何よりも、勝一が妻の死後すぐに妻の妹である夏子と再婚したことが眞人のメンタルに課した負担は大きく、しかも、その効果に勝一は無自覚らしい。夏子は、前の母に似ていただけでなく、一段若くなって帰ってきたために眞人が魅了されたことは、その表情からたやすくみてとれる。④眞人は母に対する罪悪感を無意識的に強め、父と夏子に対して

④「カタク」ナな態度を取らざるをえない。そのため眞人は、キリコに対して、「夏子さんは、父さんが好きな人だ」という説明をするが、⑤少女ヒミにも同じように父を介した屈折した説明を繰り返している。したがって、喧嘩の後、石で自らの頭を傷つけた行為には、車で学校に乗り付けたことも含めて、以上のような父（および夏子）の身勝手な振る舞いに対する非難の意図が込められている。少なくとも彼らの気持ちを⑥「ホン」ロウしようとした。あの性格の父ならば必ず学校に怒鳴り込むことを見込んで、この「あまり好きじゃない」世界を小さな悪意で彩ろうとしたのだ。しかし、ほんらいは他者に向かうべき「悪意」を自傷行為で行うという⑦捻れがここにはある。夏子への好意を否認し、悪意を行使した自分に対する⑧戒めの意味が重なっている。つまり、その傷の深さは⑨へ　　を同時に印しているのだ。

公式パンフレットによると、眞人が火事で母を失ったとき、彼は二歳だった。彼自身のナレーションでは「戦争の三年目」という（太平洋戦争が始まって二年後は一九四三年）。そして「四年目に⑩「ソ」カイ」。つまり青鷺屋敷へ引越して夏子との同居が始まるのが一九四四年。このとき眞人は一二歳で、推定の生まれは一九三二年。これから中学生になろうという思春期の⑪端境にいる。問題は、母の死から⑫「ソ」カイまでの時間である。早すぎるのだ。父・勝一は母の死後わずか一年足らずで夏子と結婚し、妊娠させたことになるが、物語の現在時に出産態勢に入っている。

るのだから、仕込みはもつと早いはずで再婚以前、何ならほぼ母の死と同時に、下手するとそれ以前から関係を持っていた可能性が出てくるのである。戦時下の婚活事情では(B)場当たりの・即席的な結婚は(C)茶飯事だったようなので(カ)コウ「シヨウ」的には全然普通の可能性もあるが、多少は恵まれた家庭で大事に育てられた眞人が簡単に納得できることではなかったろう。

出典(坂口周「倫理を問いかけるアニメーション」『現代思想』2023年10月臨時増刊号より、一部を改変した)

問1 傍線(ア)と(カ)について、「」内のカタカナに当てはまる漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の

①～④のうちから、それぞれ一つ選んで答えなさい。

解答番号は(ア) [1]、(イ) [2]、(ウ) [3]、(エ) [4]、(オ) [5]、(カ) [6]へ

(ア) ダイ「タン」

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ① 小説の「タン」びな世界に夢中になる | ② 反撃の機会を虎視「タン」タンと狙っている |
| ③ 厳しい環境で精神を「タン」レンする | ④ 彼には何事にも動じない「タン」リョクがある |

(イ) 「ゴウ」 ホウ

① 兄は「ゴウ」ケンで頼りがいがある

③ 明治時代のブン「ゴウ」の作品を読む

(ウ) 「カタク」 ナ

① ピカソの新たな「ガン」サクが発見された

③ 将来は「ガン」グを扱う会社で働きたい

(エ) 「ホン」 ロウ

① 彼が社長になれるよう「ホン」ソウする

③ 朝廷に対してム「ホン」を起こした

(オ) 「ソ」 カイ

① 言葉遣いをシン「ソ」関係によって変える

③ 社長の「ソ」ボウな態度に心底呆れた

② あまりに「ゴウ」マンな彼の態度に呆れた

④ 未来エイ「ゴウ」残しておきたい宝物だ

② 物事のシン「ガン」を見極めるのは難しい

④ あの建物は「ガン」ジョウなので安心だ

② 小説を英語から日本語に「ホン」ヤクする

④ この映画は「ホン」ポウ初公開の注目作品だ

② ホラー映画に出てきたジュ「ソ」の言葉だ

④ 彼には作家として生きていく「ソ」ジがある

(カ) コウ「ショウ」

- ① 事件の後「ショウ」スイしている
- ② 事件の全容を「ショウ」アクしている
- ③ 事件の被害者にホ「ショウ」する
- ④ 事件の「ショウ」ニンとして呼ばれる

問2 傍線(あ)ゝ(う)について、――部分の正しい読み方を、次の①ゝ④のうちからそれぞれ一つ選んで記号で

答えなさい。

解答番号は(あ) 7、(い) 8、(う) 9へ

(あ) 妬まれ

① 「ねた」まれ

② 「うらや」まれ

③ 「うと」まれ

④ 「さげす」まれ

(い) 捻れ

① 「かす」れ

② 「ひね」れ

③ 「こじ」れ

④ 「ねじ」れ

(う) 戒め

① 「いまし」め

② 「こらし」め

③ 「さんざ」め

④ 「あらた」め

問3 傍線(A)～(C)について、ここでの意味として最も適切なものを選びなさい。

解答番号は(A) 10、(B) 11、(C) 12へ

(A) 端境

- ① 最も盛んで中心的な時期
- ② 最も遠く離れた時期
- ③ 引越しを控えた時期
- ④ 新たに移行する時期

(B) 場当たりの

- ① 計画性もなく目先の効果だけを考えてその場の思い付きで行うこと
- ② 規則性もなくその場の視界に入るものから手当たり次第に選ぶこと

③ 自主性もなく他者から勧められた行為を当惑しながらも実践すること

④ 独自性もなくその時代の流行に則ったものを当然に受け入れること

(C) 茶飯事

- ① 話題の中心となること
- ② 至極ありふれたこと
- ③ その時代ならではのこと
- ④ 贅沢な褒美となること

問4 本文中の空欄(Ⅰ) に当てはまる、最も適切な言葉を一つ選びなさい。

解答番号は 13

- ① 典型的な ② 堅実な ③ 母性的な ④ 異質な

問5 傍線(Ⅱ)に、「眞人は母に対する罪悪感を無意識的に強め」とあるが、眞人が罪悪感を覚えた理由の説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

解答番号は 14

- ① 父が新しく連れて来た継母を簡単に受け入れたら死んだ母親が可哀そうだから抗うべきであると思つて
いるのに、どうしようもなく夏子に惹かれてしまい息子として裏切りではないかと感じたから
- ② 夏子は母の妹ではあるが別個の人格であり同一視すべきではないと思つているのに、どうしても若返
った母が帰ってきたように錯覚してしまい思春期の中で成長が劣っているのではないかと感じたから
- ③ 父親が好きになった女性を家のために新しい母親として認めるべきであることは分かっているのに、どう
しようもなく嫌悪感が勝つてしまい多少は恵まれた一家の跡取りとして失格ではないかと考えたから

- ④ 異性の価値を外見や年齢によって判断するべきではないということは分かっているのに、どうしても夏子を容姿の美しさや若さを理由として好意的に捉えてしまい戦時下の中で不謹慎だと考えたから

問6 傍線(Ⅲ)に、「少女ヒミにも同じように父を介した屈折した説明を繰り返している」とあるが、それはどのような説明を指すか。またこの説明の仕方によりどういった効果が得られると考えられるだろうか。本文に即して、最も適切なものを選びなさい。

解答番号は15へ

- ① ヒミに対して「夏子さんのことをキリコさんにも父から説明してもらった」とまわりくどく説明する方法をとったということ。これによりキリコとヒミ双方を公平に扱って接していることを明確に打ち出せる効果がある

- ② ヒミに対して「夏子さんは父が好きになった人だ」と自分から見ても義母であるという情報を敢えて省く説明の方法をとったということ。これにより真人自身の夏子への関心の薄さや心的距離感の遠さを装える効果がある

③ ヒミに対して「夏子さんのことを好きになったのは父が原因だ」と言い訳めいた説明をする方法をとったということ。これにより、無意識に責任転嫁することで自分自身の罪悪感を和らげ精神を落ち着かせる効果がある

④ ヒミに対して「夏子さんは自分が好きになった人だ」と父の言葉で直接説明してもらう方法をとったということ。これにより、他者の視線から代弁したせいで曖昧さや誤解が生じてしまうことを避けられる効果がある

問7 空所^(iv)へ へ へにはロシアの作家ドストエフスキーの文学作品の書名が比喩的に用いられている。その書名は何か。へ へに当てはまる適切なものを一つ選びなさい。

解答番号は16へ

① 車輪の下

② 刺青

③ 罪と罰

④ レ・ミゼラブル

第2問 次の文章を読んで、それぞれの問いに答えなさい。

問1 次の文を読んで、空欄 (A) (J) に当てはまる最も適切な語句を、後の選択肢①～⑩の中から、それぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は

(A) 17、(B) 18、(C) 19、(D) 20、(E) 21、

(F) 22、(G) 23、(H) 24、(I) 25、(J) 26へ

黄色い花は、アブをパートナーとして花粉を運んでもらっていた。

(A) 、紫色の花はミツバチなどのハナバチをパートナーに選んでいる。ミツバチは紫色を好む。紫色の花は紫外線も多いから、ハチは紫外線を合図にして紫色を選んでいるのかも知れない。

ミツバチなどのハナバチは、植物にとっては、(B) 望ましいパートナーである。

(C) 、ミツバチは働きものだ。ミツバチは女王蜂を中心として家族で暮らしている。(D) 、自分の餌だけでなく、家族のために花から花へと飛び回り蜜を集めるのだ。(E) 、植物にとっては、それだけ、たくさんの

花粉を運んでもらえることになる。

(F) ハチは頭が良く、同じ種類の花を識別して花粉を運んでくれる。また、ハチは飛翔能力が高いので、遠くまで飛ぶことができる。そのため、ハチが花粉を運んでくれる植物は、離れて咲いていても、(G) 花粉を運んでもらうことができるのである。

この優秀なパートナーを惹きつけるために、ハチを呼び寄せる花は、たっぷりの蜜を用意してハチを出迎える。(H)、これには問題があった。

蜜をたくさん用意してしまうと、ハチ以外の他の虫も集まってきてしまう。(I) 奮発して用意した蜜を他の虫に奪われてしまうのだ。

紫色の花は、(J) ハチだけに蜜を与えることができるのだろうか。

出典 (稲垣栄洋「花の色には意味がある」『中高生のための文章読本―読む力をつけるノンフィクション選』より、一部を改変した)

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|-------|---|------|---|-------|
| ① | せつかく | ② | つまり | ③ | 一方 | ④ | ところが | ⑤ | どうやって |
| ⑥ | もつとも | ⑦ | さらに | ⑧ | しつかりと | ⑨ | そのため | ⑩ | 何より |

問2 次の文を読んで、空欄 (A) 〃 (I) に当てはまる最も適切な語句を、後の選択肢①～⑨の中から、それぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は (A) 27、(B) 28、(C) 29、(D) 30、(E) 31、

(F) 32、(G) 33、(H) 34、(I) 35へ

閑さや岩にしみ入る蟬の声

芭蕉

『おくのほそ道』の奥州（東北）旅行で寄った立石寺の風情を (A) 句です。

立石寺は岩の (B) 山中にあり、絶壁の上に堂が建っています。全山を (C) ばかりに蟬の声が鳴きしきり、耳鳴りのような鳴き声に囲まれていると、やがてその響きが岩に沁みいるように感じられ、ただ静けさの中にいるようだ……ということです。

真夏の山全体が轟くような蟬時雨、それも大きな岩の内奥にまでジリジリと沁みこむように、まさに「しみ入る」ように (D) 蟬の声を聞き続けていると、次第に心の底まで (E) ような閑寂のひとときを感じ始めたという芭蕉句は、まさに傑作といえるでしょう。

芭蕉は俳諧宗匠として暮らせる可能性もありましたが、金銭を得るために俳諧を詠むことを止めて
(F) 後、門
人たちの援助によって暮らし、何かに
(G) ように旅を続けました。

『おくのほそ道』の奥州旅行もその一つで、芭蕉は過去に漂泊の旅を
(H) 詩歌人（連歌師の宗祇もその一人です）に憧れていました。彼らのように旅と詩歌に人生を
(I) 「風狂の徒」として生きたいと願い、実際に大坂旅行のさなかに病を得て亡くなります。五十一歳でした。

出典（青木亮人『教養としての俳句』より、一部を改変した）

- | | | | | |
|-------|---------|--------------------------|--------|---------|
| ① 覆う | ② 澄みわたる | ③ そばだつ | ④ 費やす | ⑤ 響きわたる |
| ⑥ 詠んだ | ⑦ さすらった | ⑧ 憑 <small>つ</small> かれた | ⑨ 隠棲した | |

問3 次の文を読んで、空欄 (A) 〃 (H) に当てはまる最も適切な語句を、後の選択肢①～⑧の中から、それぞれ一つずつ選びなさい。

解答番号は (A) 36、(B) 37、(C) 38、(D) 39、(E) 40、(F) 41、(G) 42、(H) 43へ

現代の民主主義は、メディアによる世論形成と国民の動員に大きく (A) しています。それはすなわち、「メディアが変われれば政治が変わる」ことを (B) しています。哲学者の國分功一郎は政治とは「個」と「公」、「一」と「多」を結ぶことにその本質がある、と (C) します。

人間の想像力には限界があります。普通の状態では、目の前の妊婦を助けるために救急車を呼ぶことにためらいはなくても、海の向こうの遠い国で災害が起きている、と聞いたときに同じように心が動かされることはまずありません。

しかし社会をある程度の規模で (D) しなければ、公共のサービスやインフラを前提とした現代の (E) 生活は成り立ちません。僕たちは何らかの手段で想像力を (F) させて、会ったこともなければ名前も知らない人たちと一緒に社会を (D) し、そのための意思決定を行わなければなりません。これが「政治」です。

かつては、宗教がこの想像力の増幅器として機能して、「個」と「公」、「一」と「多」を結びつけていました(祭政一致)。しかし時代が下り、人々が精神の自由を求めるようになると宗教という装置は (G) しなくなった。その代わりに (H) したのが物語(イデオロギー)です。

出典 (宇野常寛『日本文化の論点』より、一部を改変した)

- | | |
|------|------|
| ⑤ 台頭 | ① 消費 |
| ⑥ 増幅 | ② 機能 |
| ⑦ 運営 | ③ 依存 |
| ⑧ 指摘 | ④ 意味 |

第3問 次の語句や口語文法に関する問いに答えなさい。

問1 次の(a)、(b)の()に入る適当な語を、それぞれ一つ選びなさい。

(a) () は熱いうちに打て

- | | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| ① 金 | ② 鉄 | ③ 石 | ④ 臼 |
|-----|-----|-----|-----|

(b) () に腕押し

- | | | | |
|------|------|------|------|
| ① 団扇 | ② 扇子 | ③ 御簾 | ④ 暖簾 |
|------|------|------|------|

解答番号は (a) 44、(b) 45へ

問2

次の (a) ～ (c) の各傍線部と同じ用法で文法表現が使われているものを、それぞれ一つ選びなさい。

解答番号は (a) 46、(b) 47、(c) 48へ

(a) 円柱にきりぎりすが一匹とまっている。

(芥川龍之介『羅生門』より)

① 桜子さんは背が高くてメガネをかけている

② ドッグランの中を沢山の犬が走っている

③ 自宅から離れた大学まで電車で通っている

④ さつきから近所のお寺の鐘が鳴っている

(b) 竜宮といえば、先ず、「浦島太郎」の昔話が思い出される。

(豊島与志雄『竜宮』より)

① この施設を来週総理大臣が視察される

(c)

窓枠を両手で叩きながら大声で唄い出した。

② じゃんけんに負けて代表者会議に行かされる

③ 昔の写真を見ていると故人の手柄が偲ばれる

④ 月は昔から東洋人により多く喜ばれる

① 先週の台風で屋根が飛ばされた

② 先着百名で締め切りになります

③ 砂浜に着くと裸足で走り出した

④ タブレットで発表資料を作る

(横光利一『頭ならびに腹』より)

国語総合 A日程

解答番号	正解
1	4
2	3
3	4
4	2
5	1
6	4
7	1
8	4
9	1
10	4
11	1
12	2
13	4
14	1
15	2
16	3
17	3
18	6
19	10
20	9
21	2
22	7
23	8
24	4
25	1

解答番号	正解
26	5
27	6
28	3
29	1
30	5
31	2
32	9
33	8
34	7
35	4
36	3
37	4
38	8
39	7
40	1
41	6
42	2
43	5
44	2
45	4
46	1
47	3
48	4
49	
50	